

“Let's act now for the future” “Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself !”
「未来に向けて今すぐ行動しよう」 「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」

理事メッセージ

2022-2023年度 東日本区理事
佐藤 重良 (甲府21)



あけましておめでとうございます。

今年もまだコロナが終息しておりませんが、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区の会員として、公平で持続可能な世界を築

くために、互いに刺激し合い・親睦を深め・助け合ってYMCAに・地域社会に積極的に奉仕活動を実施して行きましょう。現状では、徐々にリアルでの例会・会議・行事が実施されてきました(対策を厳重にして)。今後とも感染防止対策をしっかりと実施して、可能な限り、リアルで実施したいものです。

今年度は残すところ6ヶ月ですが、大きなイベントが3つございます。2月4日5日、神戸で開催の東西日本区交流会(ワイズ設立100周年・東西日本区25周年をお祝いする大会)・台湾でのワイズ設立100周年祝う国際祝賀会(3月10日から12日まで台北にて)・毎年実施の東日本区大会(6月3日・4日・山梨県甲府市)です。

また今年度の活動(目標達成)も道半ばです。4事業(CS・Yサ/会員増強/国際・交流/ユース)がございしますが、目標と定めた事項を達成するための、ご協力・ご支援もよろしく申し上げます。中でも最大の課題は会員増強です。会員増強の特別委員会Change!2022委員会は栗本委員長のもと、3年半の長い間、活発な活動をしてまいりましたが、昨年12月で規定により終了となりました。活動の成果として、Change!2022ニュースは42号まで発刊(一度の休刊もなく)されました。このニュースは会員からの経験談から寄稿された、会員増強の極意ともいえるような記事も沢山あります。また今すぐに使用できる貴重な会員増強の資料も、数多く蓄積されました。長い間の活動ありがとうございました。今後は、EMC委員会を拡大EMC委員会として、会員増強の推進をしてまいります。年初の目標は純増(退会者もいますので)60名としておりますが、12月末で達成度は22%です。目標達成のため退会者を少なくしてください。6月末までに各ク

賀 春

ラブ2名の会員増強をお願いします。新クラブ設立も、引き続き活動をお願いします。他の3事業はクラブライフを楽しみながら、未来に向け、魅力あるワイズ活動となりますよう推進してください。今年も親睦を深め・健康に留意して、YMCAのため、地域社会のため、私たちを必要としている人のため、貢献してまいります。

東西交流会登録締め切り1月20日 P8参照

東西交流会の広告募集締め切り1月10日

P8参照

台湾開催のYMI(国際協会)創立100周年祝賀会の登録をお願いします P11参考

<http://ymi-100.org/>

目次

佐藤理事メッセージ	1
今月の強調月間JEFとEFについて	2
東日本区書記からのお知らせ	2
会員増強事業主任より	3
地域奉仕・YMCAサービス事業主任より	3
国際・交流事業主任より	4
ユース事業主任より	4
Y's x SDGs ユースアクション報告(山梨)	5
松本クラブ 第24回アジア賞授賞式	6
YMCA報告	7
第3回東西日本区交流会プログラム紹介	8
第26回東日本区大会のお知らせ	8
子育て講演会のご案内	9
1月、2月の予定	9
東日本区事務所便り	9
第3回東西日本区交流会ちらし	10
台北・100周年記念式典ツアーのご案内	11
感謝の気持ちをJEFへ	12
子育て講演会ちらし	13

今月の強調月間「JEF」、「エンダウメントファンド(EF)」

JEF (東日本区ワイズ基金)

東日本区ワイズ基金委員長
高田 一彦

JEFはJapan East Y's Men's Fundの略称で「東日本区ワイズ基金」の事を指します。

この基金は、東日本区ワイズ運動の継続的な組織と事業の発展のために、部・クラブ・個人が記念すべき出来事、行事、慶弔事のときに、感謝の気持ちを表す献金で成り立っています。また、記念行事等に関わらず随時ワイズダム発展の為の献金も受け付けています。

献金されると寄付者名とその理由が「奉仕帳」に記載され、永久保存されるとともに区報にも掲載されます。これまでの活用実績は、ワイズ記念誌発行支援、国際大会・国際交流活動の支援としての通訳器の購入、YMCA東山荘100年募金への協力等が行われてきました。直近では、「Change!2022会員増強支援事業」への支援や、ワイズ発祥100年を記念しての「ポール・ウィリアムス・アレキサンダー遺産計画」への献金等が挙げられます。

今月のJEF強調月間に因んで、クラブ例会でのJEF献金にご協力頂ければ幸いです。
(添付チラシを参照)

EF (エンダウメントファンド)

国際・交流事業朱任 利根川太郎

エンダウメントファンド(以下、EF)は、ワイズメンズクラブ国際協会の財政的な安定とワイズダム発展のための基金です。新しい年を迎えるにあたり、私たちの運動の将来について考えるのに、これほど良い時期はありません。EFの目的は、特別なプロジェクトを実施したり、特別な課題に対応したりするために準備されている基金です。また、新クラブの設立を目指すスポンサークラブ、部等にも補助金(SDS: Special Development Support)として活用されます。

EFへの寄付の仕方には6種類あります。寄付した場合、証書が授与されるとともに、スイスの国際本部に保存されている「ゴールデンプック」の該当ページに名前が記載されて永久に保存されます。また、以下の2~5の場合は記念のバッジも授与されます。

1. 献辞を伴う寄付：クラブ/個人/グループで120スイスフラン以上を特定の人を記念して献辞とともに寄付を行う。
2. ポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェロー：個人が120スイスフラン以上の寄付をした場合。
3. ダブル・ポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェロー：個人による2回目の120スイスフラン以上の寄付をした場合。
4. オナーロールメンバー：個人で1,000スイスフラン以上の寄付をした場合
5. オナーロールクラブ：クラブで1,000スイスフラン以上の寄付をした場合
6. エンドウメントフレンド：個人で50スイスフラン以上の寄付をした場合

▼なお、2021-22年度における東日本区のEFへの献金は594スイスフランでした。東日本区ワイズ基金(JEF)同様、記念すべき出来事の折にワイズダムの発展を願ってEFにもご協力をお願いいたします。

参考

<https://www.ysmen.org/our-work/programmes/endowment-fund/>

東日本区 書記からのお知らせ

東日本区書記 清藤城宏

1【常任役員会報告】

12月15日(金)19時から21時15分、Zoomによるオンライン会議で常任役員会が実施されました。出席者は、常任役員5名、監事1名、理事からの出席要請者12名。協議は、CS・Yサ・ASF資金運用規定の改定について、CS・Yサ・ASF資金支援申請、東西交流会、国際100周年祝賀会・台湾、国際からの連絡事項、次期事業主任・部長研修報告等が話し合われました。次回は1月30日を予定。

2【臨時代議員会報告】

グーグルフォームにて議案「2024-2025年度東日

本区理事指名の件」山田公平氏(宇都宮)指名の投票が12月1日~12月11日までを投票日として行われました。議決権者72名中投票者58名。賛成55名、反対1名、保留1名、無効1名。過半数の賛成をもって、議案は、承認可決されました。

国際選挙のお知らせ

1/30まで

・2023-24年度次期国際会長および同年度次期国際会計アジア太平洋地域選出次期国際議員(次々期アジア太平洋地域会長)

○投票期間：2022年12月16日~2023年1月30日

○投票権のあるクラブ会長は必ず投票を!

▼投票方法についての質問は書記まで。

なお、投票を済ませたクラブ会長は書記までご報告くださいますようお願い致します。

会員増強事業

会員増強目標の希望に向かって

会員増強事業主任 佐藤節子

新しい年の幕開けを心よりお喜び申し上げます。

旧年中はお世話になりました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

佐藤重良理事主題「未来に向けて今すぐ行動しよう!」のもと、主任主題「楽しく会員増強の『タスキ』をつなげよう!」を掲げて半年が過ぎました。

EMC 委員会の目的・目標に沿って、入会候補者のリストアップ、A・B・C チームを編成し、入会促進を東日本区として年間 60 名の増員を掲げました。

前期活動取組みの目玉は「会員増強 100 日間キャンペーン」(9 月 1 日～ 12 月 9 日)でした。委員会も拡大し、Change! 2022 委員会、各部エクステンション委員長の方たちの皆様に協力を仰ぎ実施しました。本年は Change! 2022 の終了にともない拡大 EMC 委員会(部長・エクステンション委員長・各部主査・藤井・栗本・板村各位様)を強化して活動いたします。

会員増強中間報告: 全体 24 名(12 月 12 日現在)入会。100 日間キャンペーン成果: 20 名(甲府やまなみ新クラブ設立 11 名含む)60 名の増員目的までに、あと一歩!あと一息!を二回繰り返すと目標達成になる予感です。

Change! 2022(昨年 12 月終了)の栗本さんたちの作り上げた QR カードに関心を寄せられた方から 12 月 19 日にご連絡をいただいた朗報もあります。遅咲きの花であっても土壌はしっかり耕してありました。

まだ半年あります。芽が出て膨らんで花が咲く「希望の年」になりそうな気配です。本年も、皆様のご協力に感謝し共にブラボーと言われるよう邁進いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

地域奉仕・YMCA サービス事業

新しい年に向けて

地域奉仕・YMCA サービス事業主任

小山 久恵

新年あけましておめでとうございます。今年こそコロナが収まり、戦争が解決しますようお願いしてやみません。今年度も丁度半分が終わり、振り返ると前期は何もしなかったなと反省しているところです。目下プロボノリストを作成中です。定年前のお仕事、ご自身が興味を持っていることを、当たり障りのないところで協力をお願いします。このプロボノリストは、卓話者選びにも役立ちます。2 月 15 日は、各種献金をお忘れなくお納めください。また 4 月は Week4Waste があります。これは世界一斉にゴミ拾いをします。クラブ単位で、おそろいのシャツ等を着て、トングとビニール袋を持って近隣をごみひろいしてください。もちろん数人の小グループでも、お一人でもかまいません。最近、自然災害が頻繁に起こっています。家族、知人の安否を確かめて、それから被災者への支援をしてください。YMCA 制作のセイフティガイドラインがありますので、それを使って、担当主事に解説をしていただきます。CS・Y サ事業委員会はトロイカ方式で委員に次年度も残ってもらい、前年度にできなかったことを引継ぎ、実現するように努力します。皆さまのご協力、よろしくお願いいたします。



国際・交流事業

2023年新年を迎えて

国際・交流事業主任 利根川 太郎

皆様、あけましておめでとうございます。

2022年は世界的に激動の年でした。北京冬季オリンピックが、この年の出来事だったのかと驚くほど、昨年の方が遙か昔に感じられます。

そのような激動の中であって、ワイズメンの皆様の変わらぬ奉仕の精神に心から敬意を表します。

2022-23年度国際・交流事業委員会は、7月23日の第1回委員会から12月1日まで4回の委員会を重ねて参りました。この間、東日本区の各部事業主査の皆さんに多大なご協力をいただきました。委員会の承認を得て、「BF使用済み切手取扱い」、「BF国際表彰のお知らせ」、「国際献金案内の改定版」、「YES献金についての説明」などを理事通信に掲載いただきました。さらに、主査の皆様にご各クラブ会長に東西日本区交流会への参加登録を勧誘いただくなど活動して参りました。

2023年は、直近の事業として2月4日(土)～5日(日)の「東西日本区交流会」がございます。まだまだ参加登録クラブ・参加者が少ない状況でございますので、皆様誘い合わせて神戸に参集し、旧交を温めようではありませんか。

また、3月9日(木)から台湾で100周年記念式典が開催されます。コロナ禍で海外渡航が難しかった時期を越えて、お互いに十分注意しながら対面でのイベントを楽しみたいと思います。皆様の参加をお願いいたします。

次期に向けては、BF派遣受け入れクラブと部の募集、周知を進めて参ります。例年は12月に次期の受け入れ募集があります。受け入れクラブのメンバーは優先的にBF派遣が受けられるそうです。BF派遣に応募していただくクラブメンバーを見つけることも大切だと考えています。また、TOFプロジェクト応募につきましても、佐藤理事から働きかけをいただいておりますので、実現できるように、条件を調べて状況を整えて参りたいと思います。

最後に、2023年が、穏やかな明るい年となりますように祈念するとともに、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

ユース事業

2023年新年のご祝詞を申し上げます

ユース事業主任 衣笠輝夫

2022-2023年度の後期に、私たちはどのような方針で、なにを行っていくのか、厳しいワイズメンズクラブの現況にあって、ユース事業に問われることは何かをよく考え、実施していきたいと思えます。「ワイズメンズクラブとYMCAの協働」の考え方に立ち、若い方々の経験の場を作り、彼らの中にある賜物を発見、伴走していき、まさにユースエンパワメントを発揮できる環境作りを推し進めます。具体的には現在、東西ワイズメンズクラブとYMCAが推し進めているSDGsユースアクションチームの支援をどのような形で行うかを検討しています。

東日本区ユース事業委員会が企画・主催してきたプログラムに「オープンフォーラムY」があります。2011年に第1回が開催され、2019年まで8回開催された素晴らしいプログラムです。国内外の諸課題に対して、自分なりにアクションプランを持っているユース、国際協力、人道支援、NGO、社会起業等で活躍したいユース、さらに学びたいなど様々なニーズも持っているユースが集まり、互いに学び、伝え合い、そして夢を実現する仲間をつくり、方法を具体的に考えるフォーラムです。このフォーラムは公開なのでYMCAやワイズメンズクラブと関わりのなかったユースも参加できる機会を提供します。

2023年1月からのユース事業委員会(オンライン)で各ユースアクションチームの代表に来ていただき、お話を聞き、共有しながら具体を検討していきます。まだ「オープンフォーラムY」はワイズメンズクラブの中でも、あまり知られていません。YouTubeにオープンフォーラムYのご紹介(その1)と(その2)がアップされていますので、ご参照ください。

▶ https://youtu.be/_22aGcR180I

▶ https://youtu.be/7c_mlWM9olk



Y's ×SDGs Youth Action 2022

【ユースアクション 2022 に参加している山梨 YMCA ユースリーダー会から 12 月 24 日に行われたイベントの報告を載せました】

12月24日(土)、無事、清走中甲府編 Vol.2 を盛会のうちに終えることができました。クリスマスイブのお忙しい時期にもかかわらず、今回も 127 名の方にお越し頂き、合計 109 キロものゴミ(前回の倍です!)を収集することができました。心より感謝申し上げます。

今回は、甲府の町にゴミをまき散らす悪の組織に怒った武田信玄公がサンタクロースに助っ人を頼み、2人がタッグを組んで参加者に清掃を呼びかける設定でした。今回の特色として、甲府市中央商店街のお店にご協力を頂き、アイテム交換所やレアゴミ(金のペットボトル)を置かせてもらうなど、より地域に密着したイベントとなりました。これには甲府市市会議員の望月大輔様、川崎靖様にご尽力いただき、商店街と YMCA との関係性を結んでいただきましたことに感謝申し上げます。また、アメリカ人、ネパール人、ウクライナ人、また、ブラジルにつながるの学生さんなど多国籍な参加者が運営ボランティアや参加者として関わって下さったことも今回の特筆すべき特徴でした。特にウクライナのことを覚えて、清走中の特別アイテムに「平和の軍手」を設けることで、平和のテーマを盛り込みました。

株式会社 Gab 様の企画・運営力のすばらしさには私たちは今回も大いに学ぶところがありました。とくに今回は山梨 YMCA のユースボランティアが中心になって運営にあたったことで、より Gab 様との協力関係が強められたと感じています。高校生 10 名を含む山梨のユースボランティアの力は大きく、その力を信じて任せることで、大きな自信を得ることができたことと思います。高校生ボランティアの募集にあたっては青洲高校の小林智校長先生、飯室雄大先生に格別のご理解、ご協力を賜りました。やまなみワイズメンズクラブ主催のグローバルフェスタで知り合ったことがご縁で実現できました。深く感謝申し上げます。

これらの全てを後方から支援をしてくださった、甲府市様、甲府市教育委員会様、そしてワイズメンズクラブの各クラブの皆様には今回も感謝の気持ちでいっぱいです。「みつかる・つながる・よくなっていく」を目指す YMCA 運動のひとつの形が地域の中で一つ小さな実を結んだことを実感しています。これらの実が成長し、また別の実を茂らせることができるよう、末永きユース育成のご支援を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

末筆ながら、皆様のお働きとお祈りへの感謝とともに、これからも皆様のご健康が守られ、共によりよき地域づくりの歩みを続けていけますことをお祈り申し上げます。

今年のクリスマスはモノを「もらう」のではなく、ゴミを「取り去る」ことで地球をほんの少し軽くし、反対にわたしたち一人ひとりが「地球市民」としての自覚と責任感に重みを増した 1 日となりました。よき出会いと気づきの時が最大のプレゼントです。本当にありがとうございました。

【清走中甲府編 Vol.2】

●参加者：大人 61 名、子ども(小学校～高校)55 名、未就学児 11 名 計 127 名

●集めたゴミの量：

ペットボトル： 20.865kg

ビンカン： 35.056kg

その他： 51.797kg
タバコ： 1,910g (1本 0.5g 換算で 3,820本)

計：109.628kg

●ボランティア：高校生 10 名、大学生 9 名、社会人 1 名 合計 20 名

●ワイズメンズクラブ助っ人隊：

軽トラ・・・市川将来(甲府21)、佐藤利之(甲府21)
ゴミ集計・・・輿水順雄(甲府21)、佐藤重良(甲府21)、
仙洞田安宏(やまなみ)、寺田善長(甲府21)

運営・準備・・・藤原琢也(甲府21)、渡辺徳之 / 手作り甲冑(甲府) 合計 8 名

●YMCA スタッフボランティア：伏見葉子(英語学校講師)、土肥満(チャイルドケアスタッフ)、中田純子(総主事)、福田奈里子(運営事務局) 合計 4 名

以上 報告は山梨 YMCA 福田奈里子さん



地元甲府市を巻き込んでのイベント開催。甲府市長や市議会議員さんも参加くださいました。



こんな楽しいゴミ拾いだったらまたやりたい!と参加した子供達からの声。



松本クラブ 第24回アジア賞授賞式

アジア賞というプログラムがあったのか !!

松本クラブ会長 大和田浩二

「これって、国際もユースもCSもみんな入ってるものだよね!!」・・・12月17日(土)、松本市駅前会館で開催された第24回アジア賞授賞式の準備をしながら、若手のメンバーが大きな声で隣の倪(ニイ)秀成直前会長(初期のアジア賞に応募した中国からの留学生、松本市で働き、家庭を持つ)に話しかけ、聞いていた皆は手を休めずに笑いながら大きくなすきました。

今年はアジア賞の当初からの精神、つまり比較的貧しかったアジア諸国からの私費で留学し、苦勞して勉学に励む留学生対象、というものを全世界からと私費に限らない留学生に拡大しました。経済的には世界の状況は24年前から大きく変化してきましたが、外国からの留学生を取り巻く環境はここのところ特に厳しく、私たち日本に古くから住む住民もなかなか心を彼らにオープンに接しているとは言い難いものがあります。

今年初めて取り入れられた、10人程度のグループで留学生とワイズのメンバーが話をするグループタイムも、留学生たちも嫌がらずに(失礼!)オジさんオバさん達と積極的に話を進め、あっという間に楽しい時間が過ぎました。

資金捻出や、1度きりの接点にしないための方向性づくりなど、松本クラブに課せられている課題は多いですが、来年以降もバージョンアップして行きます。資金作りのための文旦購入へのご協力もよろしくをお願いします。

詳細は松本クラブHPをご参照下さい。 <http://www.alpscacity.com/ys/>

第24回アジア賞作文コンテスト受賞者一覧

■最優秀賞

信州大学医学部 総合医工学研究科3年 リュウ ケンペイ 中国
「人生の豊かさとは」

■優秀賞

信州大学工学部電子情報システム工学科1年 チンワン ジー マレーシア
「なぜ他の国ではなくて、日本？」

■優秀賞

信州大学繊維学部応用生物科学科4年 チョウ シン 中国
「よりよい社会のために私ができること」

■佳作

信州大学農学部植物資源科学4年 コウ トウ 中国
「初心を忘れず」

■佳作

信州大学工学部物質化学科2年 インヒュポルド ホンゴロ モンゴル
「留学の際の人間関係の重要さ」

■佳作

信州大学経法学部2年 オリギルサイハン ゲレルトヤ モンゴル
「留学によって切り開く私の人生」

■佳作

信州大学経法学部応用経済学科3年 ホン ジンファイ マレーシア
「日本に夢があるが、焼きそばがない」

■佳作

丸の内ビジネス専門学校ビジネス科2年 アラタンザヤ モンゴル
「留学によって切り開く私の人生」

■審査員特別賞

信州大学工学部水環境・土木工学科1年 ゴーティミングエット ベトナム
「日本とベトナムの発展に貢献する願望」

■伊藤賞特別賞

信州大学グローバル化推進センター セルニコラ ヴァレンティナー イタリア
「浅き夢を見たい」

■山梨YMCA特別賞

松本大学交換留学生3年 パク ミンヒョック 韓国
「自分史『成長』」

YMCA報告

東日本区担当主事 日本YMCA同盟
大澤 篤人



1.ウクライナ関係

■【掲載報告】

神戸新聞「友人のように伴走して」

12月2日の神戸新聞に、YMCAウクライナ避難者支援プロジェクト責任者・横山由利亜さんの記事が掲載されました。避難者が「心の折れる時期」に入っていると言われる中、毎週10～15軒の避難者宅を訪問し、何時間も話を聞いて支援につなげています。

■【横浜YMCA】

◇「小さな子どもとその親子のためのおしゃべり会」開催。

横浜市国際交流協会と協働で11月12日、避難者親子のためのおしゃべり会を開催。母親が心理や福祉の専門家と話している間、子どもたちは横浜YMCAのスタッフとワークショップを楽しみました。

2.世界のYMCAのトピックス

■「Vision2030」の特設ページ公開

世界YMCA同盟Webサイト内に世界大会で採択された「Vision2030」に関する特設ページが公開されました。「コミュニティー・ウェルビーイング」など4種のテーマごとにページがあり、世界各地の多様なプログラムが一望できます。ぜひ活用を。

▼<https://www.ymca.int/key-impact-areas/>

■The YMCA Ignite show (1/17)

各国のYMCAがどのように「Vision2030」に取り組んでいるかを紹介する「Ignite Show」が1月17日14:00（日本時間1月17日22:00）に開催されます。インタビューやパネルディスカッションも交えた新しいショーを企画中のことです。

3.日本のYMCAのトピックス

■東京YMCA 新規水泳クラス 2023年4月

オープン

北品川駅から徒歩5分の「御殿山トラストタワー」内に来春、6カ月の親子から幼児、小中高校生を対象とした水泳クラスを新設する予定です。

■オンライン講座「異文化間コミュニケーション入門」ほか全16回（大阪YMCA）
大阪YMCA日本語教育センターでは1月12日～3月14日、日本語教師を対象に全16回の講座を開講。これから日本語教師になりたいと思っている方にもお勧めです。

【講師】

山下淳子先生（名古屋大学 文学部・人文科学研究科 教授）

宇佐美洋先生（東京大学大学院 総合文化研究科 言語情報科学専攻 教授）

奥村三菜子先生（NPO法人YYJ・ゆるくてやさしい日本語のなかまたち 副理事）

守崎誠一先生（関西大学外国語学部・外国語教育学研究科 教授）

■【ピンクシャツデー2023】～弁護士によるオンライン講座（2/2）も予定

今年度も全国のYMCAは、2月第4水曜日である2月22日前後にピンクシャツデーを開催します。

あわせてスタッフを対象としたオンライン研修会も実施。詳細は後日。参加費は無料。

◆日時：2月2日（木）10:00～12:00

◆講師：NPO法人「ストップいじめ!ナビ」の弁護士チーム

◆内容：「いじめ防止対策推進法」の策定に携わった弁護士・金子春菜さんから、あらためて法の主旨や大人の責務、指導の留意点などを学びます。

◆主催：全国YMCA子育て子育て事業推進会議 発達支援事業部会



第3回東西日本区交流会 登録はお済みですか？

**第3回
東西日本区交流会
大会プログラム**
語り合うワイズの未来!
ともに手をとり次の100年へ

2023年2月4日(土)・5日(日)
ANAクラウンプラザホテル神戸
神戸YMCA

THE INTERNATIONAL
ASSOCIATION OF
Y's MEN'S CLUBS

2 / 4・5

2月4日

12:00 受付開始

13:00 奉仕活動団体フォーラム

15:15 開会式

15:45 東西日本区25年の歩み

16:05 YMI100周年記念

アジア太平洋地域事業

16:25 ラオスYMCA ホテル専門学校について

19:00 懇親会

21:00 1日目終了

ワイズ以外にも奉仕団体があります。一堂に会するのは本邦初?!



Rotary



クラブとクラブ
縁をとりもつ

アポズ 大作戦

2月5日

8:00 礼拝 神戸YMCA

9:00 分科会1 ぶら神戸

分科会2 Y's Song Fest 一緒に歌いましょう

分科会3 語り合うワイズの未来

11:15 Y's × SDGs Youth Action 2022

12:00 IBC/DBC 締結式・披露式

12:35 閉会式

ユースの頑張りを見て下さい。こんなことやってきました。

語り合うワイズの未来! 東西理事と一緒にパネルディスカッション。

当日配布するプログラムへの広告も受付中!

▶ <https://www.tozaikoryu.com/> をご覧ください。

プログラムは変更になることもございます。

かふふ・く

JUNE

3-4

「あなたの置き忘れたものを、取りにきてください」

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

第26回東日本区大会

2023年6月3日(土) 4日(日)

会場: APIO 甲府 (山梨県・甲府エリア)

所在地: 中巨摩郡昭和町西条 3600 甲府駅からタクシーで20分。

http://kofu21.com/taikai_26/

2023年6月3日・4日の両日、山梨県・甲府市で第26回東日本区大会が行われます。ホストクラブは甲府21。あずさ部の各クラブの支援を受けて開催されることとなります。「かふふ・」って何? 旧仮名遣いで、甲府=かふふと書きます。そして、この甲府に来ることで、甲府・来、つまり「幸福」になるという願いを込めたキャッチコピーです。因みに、サブタイトル、「あなたの置き忘れたものを、取りにきてください」とは、電車内に忘れた傘ではありません。毎年6月に人が集う時、そこには、笑顔と、勇気と、感動があります。どうぞ、取りにきてください。

子育て講演会のご案内

東京YMCAが主催する 東京YMCA第17回子育て講演会が、来る2023年1月28日（土）午前10時~12時の間オンライン配信にて開催されます。

この子育て講演会について、**巻末のチラシ**をご覧くださいのうえ、是非とも受講（無料）をご検討ください。

対象：保護者・教育関係者・地域関係者・学生

参加費：無料

テーマ：「いまどきの子育てで大切なことー幸せ子育てのコツー」

子育てを通して保護者も笑顔になってほしい、参加者が心穏やかに安心感を得る会にしたい。コロナ禍での子育てを糧に、これからの子育てを考えていきたい。

詳しくはチラシをご覧ください。

1月2月の予定

1月強調月間 EF JEF

1月10日 各クラブ、後期半年報部長宛て提出
1月15日 各部長、後期半年報会員増強事業主任宛て提出
1月26日 次期部長ワークショップ
1月31日 後期区費請求書発送

2月強調月間 TOF FF HTW

2月4日 第3回東西日本区交流会（～5日）
2月15日 後期区費納期
2月15日 各種献金納期（クラブ→部）
2月22日前後 全国YMCAでピンクシャツデー2023を実施
2月28日 各種献金納期（部→区）

東日本区事務所便り

東日本区事務所長 小林 隆

入会者一覧

12月 入会者なし

JEF献金

献金日	部	クラブ	献金者	金額
2022年12月26日	富士山部	沼津	小林 隆	20,000
			月間合計	20,000
			年間合計	240,000

東日本区理事通信 2023年 1月号 掲載に関するお問合せは

発行人：東日本区理事 佐藤 重良

①メール kuniseido@gmail.com

編集長：東日本区書記 清藤 城宏

②FAX 050-3737-5829

第3回 神戸集合！ 東西日本区交流会

スローガン 語ろうワイズの未来！
ともに手を取り次の100年へ

2023年2月4日(土)～5日(日)
ANAクラウンプラザホテル神戸
神戸YMCA



登録費 20,000円
(宿泊費は含んでおりません)
受付開始 2月4日12:00
イベント開始 13:00
閉会予定時間 2月5日13:00



4日午後
奉仕活動団体フォーラム
(ロータリー・ライオンズ・キワニス・ワイズ)
オープニングセレモニー
東西日本区25周年の歩み
ラオスプロジェクト発表
YMI100周年記念
/アジア太平洋地域事業の紹介
懇親会



プログラム詳細・申込はこちらへ！

5日午前
早天礼拝
分科会
・Y's Song Fest ♪一緒に歌いましょう！
・語ろうワイズの未来！
・ぶら神戸(神戸の街を散策しよう！)
Y's x SDGs Youth Action 2022
IBC/DBC締結式
クロージングセレモニー

2022年にワイズメンズクラブ国際協会は100周年を、
東西日本区は25周年を迎えました。
次の100周年に向けて語り合いましょう！！



事務局 東西交流会実行委員会
Email:hiroказu@iris.eonet.ne.jp(古田)



ワイズメンズクラブ国際協会 設立100周年記念式典参加 ～ご案内～

旅行期日：2023年 3月9日(木)～3月13日(月) 《5日間》

■スケジュール

	月日	都市名	時間	交通	行 程	朝	昼	夕
1	3/9 (木)	羽田空港 松山空港	12:15 15:00	BR191 専用車	空路、エバー航空にて、台北(松山空港)へ 着後、ホテルへ その後、夕食へご案内 【台北 泊】		機内	
2	3/10 (金)	台北市内	終日		ホテルにて朝食 オープニングセレモニー参加 *会場:グランドハイアット台北 夕食は、大会会場にて 【台北 泊】	○		大会
3	3/11 (土)	台北市内	終日		ホテルにて朝食 終日、大会参加 *エキスカージン参加 夕食は、大会会場にて 【台北 泊】	○	大会	大会
4	3/12 (日)	台北市内	午前 午後		ホテルにて朝食 クロージングセレモニー参加 大会終了後、フリー 【台北 泊】	○	大会	
5	3/13 (月)	松山空港 羽田空港	07:30 11:15	BR192	朝食はBOXにて 早朝、エバー航空にて、帰国の途へ 羽田空港着後、解散	○ box		

■旅行費用(利用ホテルによって、旅行費用が下記となります)

利用ホテル	旅行費用／(一人部屋追加代金)	アクセス
1. グランドハイアット(君悦大飯店)	¥148,000／(+¥76,000)	* 大会会場
2. ハンブルハウス(寒舎文麗酒店)	¥133,000／(+¥60,000)	* 大会会場の隣りのホテル
3. ハワードプラザ(福華大飯店)	¥109,000／(+¥48,000)	* 大会会場までタクシー 10分
4. コスモス(天成大飯店)	¥99,800／(+¥36,000)	* 大会会場までタクシー 20分。台北駅前のホテル ですので、地下鉄で会場まで来られます

※上記料金に含まれるもの:往復航空運賃、ホテル宿泊代(2名一室)、日程に基づく食事代、空港⇄ホテル間の送迎代
 ※上記料金に含まれないもの:登録費(12月末まで@420US\$,1月以降@450US\$)、一人部屋希望の方の追加代金、
 燃油サーチャージ料(2022.12/12 現在 30,800円)、空港税(羽田 3,050円・台北 2,240円・国際観光税 1,000円)

(注)燃油サーチャージ:2023年2月発券以降、見直しが予定されております。

※募集人数:20名様 (最少催行人数 16名様)

※大会登録代行をご希望される方は、お一人様 550円の手数料を頂戴いたします。

※その他に、航空券のみ、ホテル宿泊のみ、登録のみの手配・予約も可能です。



■旅行主催：ワールドトラベル【観光庁長官登録旅行業 1546号】

■旅行申込先：株式会社ワールドトラベル仙台 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町 4-3-1
 TEL:022-232-8051 FAX:022-232-8085
 mail:tabi@world-sendai.co.jp 総合旅行業務取扱管理者:加藤重雄

感謝の気持ちをJEFへ!!

東日本区ワイズ基金

◎ワイズ基金とは?…

ワイズ運動の継続と維持発展のための資金で、皆様方からの献金によって成り立っています。

◎現在の献金残高は?…

2022年12月末の時点で、1,364万円の残高があります。

◎これまでどんな支援を?…

- 日本YMCA同盟 東山荘100周年事業
- Change! 2022 会員増強推進事業
- 国際大会で使用する通訳機の購入 など…

◎献金はどんな時に?…

 <p>クラブ周年行事・祝会</p>	 <p>DBC・IBC締結</p>	 <p>結婚記念日</p>	 <p>還暦・古希・喜寿…お祝い</p>
 <p>快気祝い</p>	 <p>お子さん・お孫さんの誕生日</p>	その他 会長・部長就退任感謝 ワイズ役職就退任感謝 ワイズダム発展のため …など	



東日本区ワイズ基金運営委員会



12

献金振込先：みずほ銀行 四谷支店 普通預金 口座番号 3066690
口座名義：(一社) ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

第 17 回東京 YMCA 子育て講演会

玉川大学教育学部・教授
NHK・Eテレ「すくすく子育て」講師

大豆生田 啓友先生

子育て講演会



おおまめうだ ひるとも
講師：大豆生田 啓友先生

いまどきの子育てで大切なこと ～幸せ子育てのコツ～

一昨年からのコロナウイルス感染拡大に伴い私たちの環境は大きく変化し、コロナが収束しても、以前のような生活環境には、戻らないのではないかと予想します。加えて子どもを巻き込んだ痛ましい事件や戦争など、不安を掻き立てる要素はふえていくばかりです。そのような状況の中、子どもとどのように向き合い、何に価値をおき、どのような生活を送るべきなのか。子育てに関わる皆様へ、アドバイスをいただきます。

日時：2023年1月28日(土)

10:00～12:00

オンライン開催

参加費：無料

申込：以下フォームよりお申込みください。
*お申込みされた方へ、後日 URL をお知らせ致します。

<https://bit.ly/3UViBgS>

東京 YMCA の子育て講演会について

東京 YMCA の子育て支援の一つとして、2007 年より開催し今年で 17 回目を迎えます。この「子育て講演会」は子育ての主役である保護者の方々に「自信や勇気をもって子育てをし、ご自身も輝いてほしい」という願いから、継続的に開催しております。また、特にその後の人間形成に大きく影響を与える幼児期の子どもを持つ保護者を対象にして参りました。子育て講演会の企画・立案・実施におきましては、志を同じくする会員とよばれる YMCA をお支えいただいている人たちと私ども職員が協働で実行委員会を組織し、変化する社会状況を見据え、講演を計画してまいりました。

東京 YMCA 会員部 (子育て講演会事務局)

kosodate@tokyoymca.org

公益財団法人 東京 YMCA 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 Tel 03-6278-9071 FAX 03-6278-9072

